

令和3年度第1回高齢者保健福祉協議会 意見回答書

協議事項1. 令和3年度第8期栗東市高齢者福祉計画・介護保険事業計画進捗状況について

意見・質問等	回答
<p>1-1)③ 管理栄養士等の人材の活用について引き続き低栄養傾向の住民さんへの訪問指導などで栄養改善を図ってほしいです。 3-2)④ 認知症ケアパスの活用を幅広く広げてほしいと思います。</p>	<p>・低栄養傾向にある人に対し、訪問栄養指導を行える事業を引き続き行うとともに、地域包括支援センターやケアマネジャーに事業の周知も図ります。また、いきいき百歳体操など住民主体の通い場でも低栄養に関する啓発を引き続き行っていきます。 ・市のホームページ認知症ケアパスを掲載していますが、認知症に関することで不安のある方が相談する地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等から適切に情報が届くよう、今後も認知症ケアパスの活用を促していきます。</p>
<p>3-2)-⑤ 介護者の会活動補助 11/30第9回認知症講座サロン開催。コロナ禍により、他予定サロンが中止となりました。 会の広報3月に発行予定しています。</p>	<p>・情報を提供いただきありがとうございます。第8期計画の取組照会については、市が実施した事業を中心にまとめているため、市が活動団体に補助事業を実施したことを記載しておりました。ご指摘の内容を記載することにより、どのような活動に補助しているかが明確になるため、()書きで追記させていただきます。</p>
<p>4-3) ④ 未来ノートの普及（配布数）は進んでいるのでしょうか？ 意思決定支援のツールとして活用されている場面は経験がないのですが・・・</p>	<p>これまでに累計で3,135部配布しております。主な配布先としては、老人クラブや、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、未来ノートの出前トーク依頼団体、市役所の窓口等です。 周知については、医療介護の専門職から利用者に紹介するとともに、広く市民向けに広報や市役所ホームページ、出前トークで啓発しています。</p>